

エコパルなごや

春号
Vol.90

かんきょうをたのしく学ぶ

とくしゅう
特集

ごみや資源のゆくえ、 ごみ減量の取り組みについて考えよう！

名古屋市は1999年2月の「ごみ非常事態宣言」から20周年を迎えました。

☆☆新プログラムのご案内☆☆

この間、市民・事業者との協働による分別・リサイクルの取り組みを進め、
ごみ非常事態を解決し、名古屋には分別文化が根付いたといわれるまでになりました。

当時のごみの量の移り変わりやごみ非常事態宣言を振り返るとともに、
循環型社会の実現に向けたごみそのものを出さない行動など、
さらなるごみ減量の取り組みについて考えてみましょう。

3月からエコパルなごやの
バーチャルスタジオで、幼児・
低学年向けの新プログラム
「ちきゅうとなかよし」の
上映がはじまっているよ！



いろいろな話題をお届けします。

特集

ごみや資源のゆくえ、ごみ減量の取り組みについて考えよう！

エコパル
NEWS

なごや環境大学
特別ワークショップ、マンスリー企画展示など



1 ゴみの量の移り変わりとおみ非常事態宣言

社会の変化によって、出されるごみの質が変わり、ごみを分別する必要が出てきました。名古屋市で、可燃ごみと不燃ごみの分別収集が完全に行われるようになったのは1977年からです。

ごみの量は増え続けて、1998年にはごみ処理量は100万トンに迫りました。増え続けるごみの処理のために、名古屋市港区から飛島村にまたがる藤前干潟に「ごみの埋立処分場」を作ること計画していました。いろいろな渡り鳥がやってきて休憩する美しい藤前干潟を守ろうと、ごみを埋め立てる場所を作ること市民から反対の声が広がりました。



名古屋市は、増え続けるごみの処理が大切な、渡り鳥の休憩場所が大切な結果、「ごみの処理も渡り鳥も、両方とも大切」と考えて、ごみの埋立処分場の計画を中止し、2年間で2割、20万トンのごみを減らすという「ごみ非常事態宣言」を1999年2月に出しました。

空きびん・空き缶収集を全区に拡大する、家庭ごみ指定袋制を導入する、ごみ非常事態宣言以前はごみとして捨てていたプラスチック製や紙製の容器包装を資源として回収するなど、市民や事業者の皆さんと名古屋市が協力して、ごみを減らすことに取り組んだ結果、2年後には目標の2割、20万トンを上回るごみの減量を達成しました。

現在の名古屋市で1日に排出されるごみの量は、およそ1,670トン、1日に集められる資源の量はおよそ780トンです。

体重5トンのアジアゾウに例えるとごみはおよそ340頭分、資源はおよそ160頭分になります。



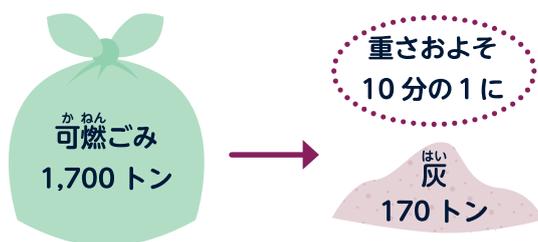
2 ゴみのゆくえ

毎日排出されるごみや資源は、家の前やそれぞれの地域の資源ステーションで、可燃ごみと不燃ごみ、30センチ角を超える粗大ごみや資源などの種類ごとに集められて、それぞれを処理する施設に運ばれます。

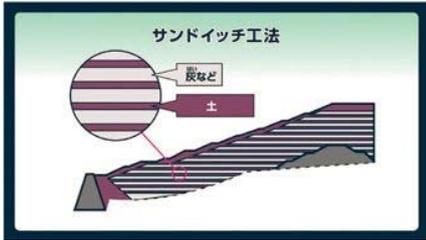
名古屋市のごみや資源を処理する施設には、可燃ごみを燃やしたり、溶かしたりする焼却工場、不燃ごみや粗大ごみを砕いてごみと資源に選別する破砕工場、焼却工場から出た灰などを埋め立てる処分場などがあります。

可燃ごみは、ごみ収集車が集めて焼却工場のごみピットという場所に貯められた後、ごみピットからクレーンを使って焼却炉に入れて燃やされます。

ごみは燃やすと重さはおよそ10分の1になるうえ、ごみの嫌においも消えてしまいます。



名古屋市の焼却工場の中には、可燃ごみや他の焼却工場で可燃ごみを燃やした後に残った灰、破碎工場で砕いたごみを高温で溶かすことのできる工場もあります。溶融炉の中で最も温度が高い1000℃～1800℃の層で、ごみや灰をすべて溶かし、それを水で冷やすと、「スラグ」という砂のようなものと「メタル」という金属になり、スラグは道路のアスファルト舗装の材料など、メタルは建設機械の重りなどとして、それぞれリサイクルしています。



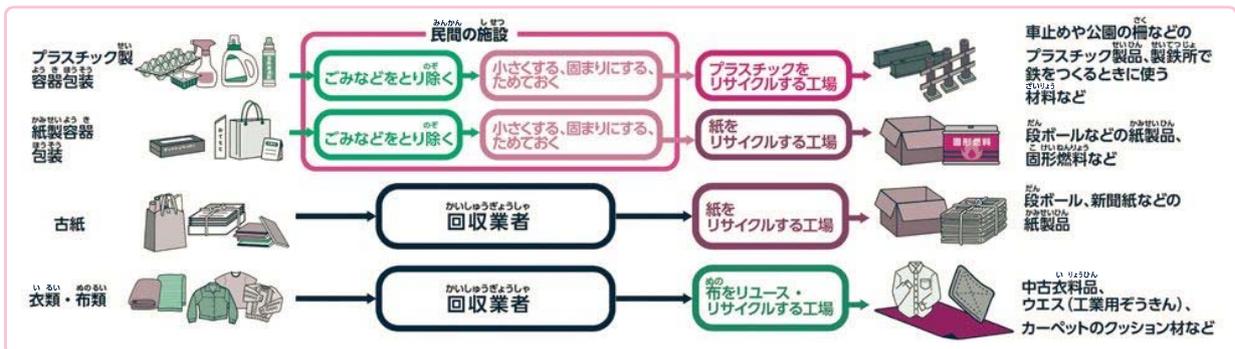
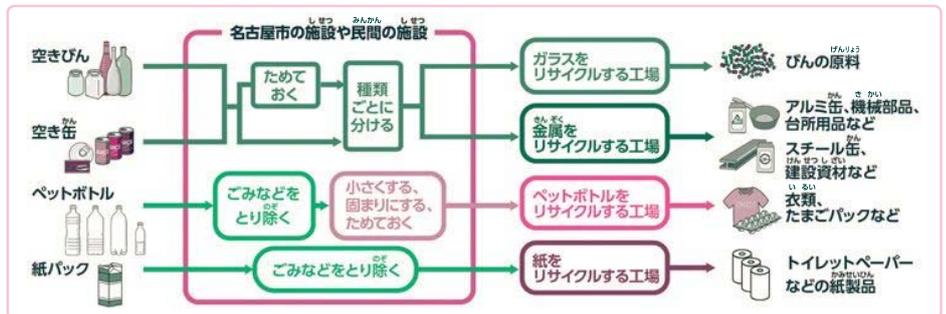
可燃ごみを燃やした後に残った灰は、岐阜県多治見市にある愛岐処分場などに運んで埋め立て処分しています。

愛岐処分場ではサンドイッチ工法を採用し、3メートルほどの灰などと50センチくらいの土を交互に積み重ねて埋め立てを進めています。埋め立てが終了した場所には植樹をし、周辺の自然環境に調和するようにしています。愛岐処分場は、平成30年3月現在、すでに約90%の埋め立てが終了し、残すところ約10%となりました。

③ 資源のゆくえ

毎日の生活の中で出る資源のうち、名古屋市で集められているものには次のような種類があり、資源をリサイクルする工場に運んで、いろいろな製品に生まれ変わっています。

空きびん、空き缶、ペットボトル、紙パックは、名古屋市の施設や民間の施設で処理されています。



プラスチック製容器包装や紙製容器包装は、民間の施設で処理されています。

集団資源回収やリサイクルステーションなどで集められた古紙や衣類・布類もリユース、リサイクルされています。

コラム ペットボトルの捨て方

- ステップ1: PET目印はこのマーク!
- ステップ2: フタ・ラベルを取る
- ステップ3: さっとみずあら水洗い
- ステップ4: 指定袋に入れる

袋に入れずに直接、スーパー・区役所などの回収ボックスへ

または

④ これからもごみを減らすためにはどうすればいいのだろう？

ごみ非常事態宣言以降の徹底した分別・リサイクルの取り組みによって、20年前と比べて、資源分別量は約2倍に増え、ごみ処理量は約4割、埋立量は約8割減りました。

しかし、2011年度に実施した容器包装以外のプラスチック製品の分別区分変更以降、プラスチック製や紙製の容器包装の資源分別率が低下し、ごみ処理量は2010年度以降横ばいの状況が続くなど、さらなるごみ減量の取り組みの推進が必要となっています。ごみを減らすために大切なことは、はじめからごみを出さないこと、すぐに捨てずに繰り返し使うこと、ごみを出すときは分別してリサイクルすることです。具体的には、3Rに心がけることで、ごみを減らすことができます。3Rとは、Reduce (リデュース)、Reuse (リユース)、Recycle (リサイクル)の3つの英語の頭文字のことです。

事項	内容
リデュース (発生抑制)	<p>マイバッグ (買い物袋) を使ってレジ袋をもらわない、水筒を持ち歩いてペットボトルや紙コップを使わないなど、ごみも資源も初めから出さないことを心がけましょう。</p> <p>レジ袋は天然資源の石油からできているため、限りある資源の節約にもなります。また、生き物が捨てられて川や海に流れ着いたレジ袋を誤って食べてしまうことを防ぐことにもつながります。</p> <p>リデュースは、埋立量、CO₂排出などの環境負荷、ごみ処理コストを同時に減らすことのできる最善の方策といえます。</p>
リユース (再使用)	<p>一度使ったものをすぐにごみにしないで繰り返し使うことで、3Rの中で二番目に大切なことです。</p> <p>不用となった家具や衣類などをフリーマーケットに持って行き、他の人にゆずる、牛乳びんやビールびんはお店に返すなど、ごみにしないで繰り返し使えるように心がけましょう。</p>
リサイクル (再生利用)	<p>古紙や衣類・布類を地域での集団資源回収やリサイクルステーションに出したり、お菓子のプラスチックの袋やたまごパックをプラスチック製容器包装としてきまりにしたがって回収に出したりするなど、ふたたび材料として使えるように心がけましょう。</p> <p>こうして回収された古紙、衣類・布類、容器包装などはリサイクルする工場でいろいろな製品に生まれ変わっています。</p>

④ 循環型社会の実現のためにわたしたちができること

ごみとなるものをできるだけ使わないなどごみそのものを出さない行動をし、ものを長く使い、使い終わったものをもう一度使えるようにしていく循環型社会をめざしましょう。

循環型社会を実現するために、一人ひとりがどんなことに取り組めるかを考え、実際に力を合わせて行動することがとても大切です。

循環型社会を実現する「ごみそのものを出さない」行動例

普段の生活で何をしたらいいの？

- マイバッグを持って出かけます
- 簡易包装の商品や詰め替えできる製品を選びます
- もったいないの気持ちで「3ない運動」*1を実践します



さらに…

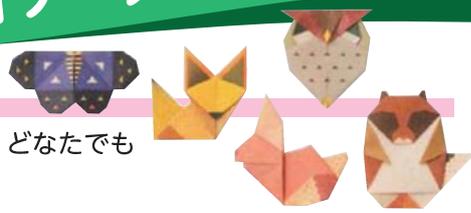
- マイボトル・マイカップ・マイ箸を使います
- 家庭で消費しきれない食品はフードドライブ*2を行っている場所に持参します

*1：食品ロスを減らす「買わずに」「作りすぎない」「食べ残さない」の3つの運動

*2：家庭で余った食品を持ち寄って、フードバンクを通じて福祉施設などに寄付する活動

おりがみアクション

- 日時** 4月21日(日) 10:30～11:00、14:30～15:00 **対象** どなたでも
- 定員** 各25名(要申込・先着順) ※4月11日(木) 9:30受付開始
- 費用** 無料 **講師** 想いでつなごう!おりがみアクション事務局 **協力** 中越パルプ工業株式会社
- 内容** 日本の竹100%でできた竹紙のおりがみで里山のいきもの等を折ることができます。



自然木を使った三輪車づくり

- 日時** 5月26日(日) 11:20～11:50、13:20～13:50
- 対象** 3歳～12歳 親子参加OK(小学3年生以下は保護者同伴)
- 定員** 各25名(要申込・先着順) ※5月11日(土) 9:30受付開始
- 費用** 500円 **講師** もくもく楽舎 たけちゃん工房
- 内容** 自然の木を使った工作教室。手のひらサイズのかわいい「三輪車」を作ります。



マンスリー企画展示

5・6月
テーマ

リユース家具の
展示・販売

出展者

環境局減量推進室

名古屋市では、物を大切にできる意識向上のため、粗大ごみの中でも修理が容易な家具類を回収・修理し、展示・販売を実施しています。販売は、入札で行います。

展示・入札期間 5月1日(水)～19日(日) 午前11時まで。
6月1日(土)～20日(木) 午前11時まで。



展示内容はこちらから確認いただけます↓
<http://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000042159.html>



エコパルなごやで、
フードドライブを
実施しています!



いただきものの詰め合わせを消費できない、自分の口に合わないけどもったいなくて捨てられない...そんな家庭にあるけれど消費しない食品をお持ちください。セカンドハーベスト名古屋を通じて生活に困っている方に届けられます。

日時 毎月8～14日 9:30～17:00(休館日を除く)

※受取ができる食品には条件があります。
詳しくはこちら→<http://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000096920.html>
もしくは「名古屋市 フードドライブ」で検索!!



ゴールデンウィーク
期間の開館日の
お知らせ

〈開館日〉

4月27日(土)～5月6日(月・祝)

〈閉館日〉

5月7日(火)、5月8日(水)

※5月7日(火)と5月8日(水)が
連日休館となりますのでご注意
ください。

エコパルなごやのメールマガジン「エコパル通信」のお知らせ

エコパルなごやのイベントや展示情報、なごや環境大学の講座情報など最新情報をタイムリーにお知らせします。エコパルなごやウェブサイトのトップページ「エコパル通信」の登録フォームにメールアドレスを入力すると登録されます。



エコパルなごや

登録



なごや環境大学

なごや環境大学ガイドブック2019前期号の紹介

「なごや環境大学ガイドブック2019前期号」配布中!



子どもから大人まで、誰もが気軽に参加できる環境講座をまとめた「なごや環境大学ガイドブック2019前期号」を無料配布中です。様々な講座の内容、スケジュールをこの冊子でぜひご確認ください。

- 配布場所**
- ▶名古屋市内の各区役所
 - ▶図書館 ▶生涯学習センター
 - ▶スポーツセンター等

愛岐の里山たいけん隊

岐阜県多治見市諏訪町にある愛岐処分場は、名古屋市のごみの最終処分場です。敷地内には地元の協力により再生した自然豊かな「里山」があります。「里山」で、田植えなどの体験を通じて春の自然を満喫しましょう！お昼は諏訪町産の食材をメインに使ったおいしい手作りごはんをいただきます♪
たくさんのご応募お待ちしております！



- 日時** 5月18日(土) 8:30～16:30
- 場所** 名古屋市愛岐処分場(多治見市) 里山までは、エコパルからバスで行きます。
- 受講料** 1,500円(バス代・保険料代)+振込手数料(要事前振込)
※お振込み先の詳細は抽選後にお知らせいたします。
- 対象** 小学4年生から中学2年生まで
- 定員** 30名
- 申込** 4月22日(月)必着・抽選
- 共催** 名古屋市環境学習センター「エコパルなごや」

- お申込・お問合せ先**
- ①名前・フリガナ、②学校名、③学年、④性別、⑤住所、⑥電話番号、⑦FAX番号、⑧メールアドレス、⑨アレルギー・バス酔いの有無
- をご記入の上、メール・FAXで下記まで。
- 「なごや環境大学」実行委員会事務局(エコパルなごや内)**
〒460-0008
名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ13階
TEL&FAX: 052-223-1223
E-mail: jimun@n-kd.jp
HP: https://www.n-kd.jp

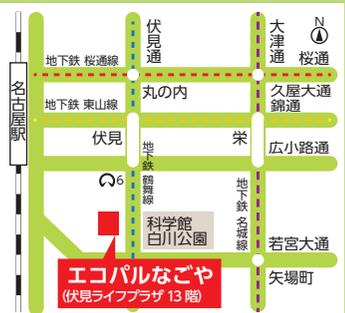


旅行企画・実施・お支払先

(株)ツーリスト中部 (愛知県知事登録旅行業 第2-1133号) 総合旅行業務取締管理者 平本 直靖
〒452-0903 愛知県清須市助七1-176片岡ビル1階 TEL: 052-409-8070 FAX: 052-409-9130

名古屋市環境学習センター エコパルなごや

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号 伏見ライフプラザ13階
地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅「6番出口」徒歩5分
■開館時間/午前9時30分～午後5時 ■入館料/無料
■休館日/毎週月曜日 祝日の場合はその翌平日
年末年始 12月29日～1月3日



申込・問合せ先 TEL: 052-223-1066 FAX: 052-223-4199
<http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/ecopal/>
E-mail: a2231066@kankyokyoju.city.nagoya.lg.jp
この情報紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。